

事業者 令和6年度 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 児童デイサービスまはろ志布志

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	利用人数に応じて、人員は配置をしている。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	第一に安全を考えて、職員を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	0	プレイルームにおいては、段差をなくしている
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	0	毎日のミーティングで、意見を出し合っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	保護者様のご意見が反映されるように、支援、療育を行なっている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	0	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	虐待や障害等の研修会を行なっている。
適切 な 支援 の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	面談を通じて、こどもの実態や保護者様のご意向を確認し、反映されたものを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	五領域からなる支援計画を作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	ミーティングを重ね、より良くなるように努力している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	ニーズに即したものを提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	日替わりの課題を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	アセスメント、モニタリングを行い、実態把握、保護者様のご意向を確認し、支援に反映されるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	必ずミーティングを行い、確認している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	共有ノートに記録をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	議事録や日誌、共有ノートを作成している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	半年ごとの更新で、面談を行なっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	児発管や管理者などが、出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0	小さなことでも、綿密に保護者様と連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	1	該当する利用者様がないため
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	必要に応じて、情報共有をしつづける。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1	卒業する利用者様がないため対象のこどもがない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	研修会に出席している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	0	同年代のこどもと一緒に遊ぶことがある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5	0	0	必要があれば参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	アセスメント時や、常時必要があれば、情報共有をしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	0	保護者様からの相談時に、助言を行なっている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	適宜説明を行なっている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	保護者様の立場になって考え、助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	1	保護者会などがいないため
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	その都度、わかりやすく説明し、安心して利用できるように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	毎日の連絡やブログ、インスタ、まはろ通信などを通じて情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	守秘義務に努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	それぞれのニーズに合わせた形で行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	0	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	マニュアルや避難場所の確認、LINEでの情報共有をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	避難場所の確認、定期的な避難訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	ミーティングや研修会などを行なっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	必ず保護者様に確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	毎月の会議での報告や記録を残している。